

神代桜・武田の里ウォークに参加して

前林 志げ子

前日の春の嵐もなんとか通過、93名バス2台にて出発。
 甲斐の山々は雨であらわれ、ベージュ色あり、萌黄色あり、山と山の間に虹の橋をかけて歓迎してくれた。真原の桜は「よく来たね、頑張ってるよ、心行くまで楽しんでね」と言った。
 歩けるっていいね、友達がいていいね、自然はいいね。
 神代桜は何も言わなかった。
 おごってはいけない、自然を駄目にしてはいけない、自分に出来ることを精一杯しよう、人間の欲得で地球を壊してはいけない、とそんな言葉が古木より感じられた。
 わに塚の桜は言った「この宴はもう終わったよ、又おいで」と堂々としていた。
 時折お天気雨になった。色とりどりの雨具で里山の山道に行く美男美女の列は、まるで狐の嫁入りの行列のようだった。桃源郷の桃は言った。「寄ってくれて有り難う」と初々しくて美しかった。「良い実を沢山つけるから又来てね」と付け加えた。帰る頃にはすっかり天気になり、大きくどっしりした富士山を見て安心した。
 役員さん、気配り目配り有り難うございました。今日も又楽しい一日となりました。

あの人この人



佐野 泰子さん

昭和14年7月1日、泰子さんは満州の安東省で、久留米出身の満鉄に勤める父と富士宮出身の母の間に第一子として生まれました。穏やかな幼少時代を過ごしていた泰子さんでしたが、昭和20年8月、日本は敗戦国となり、翌21年1月、女の子を欲しがる中国人を欺く為、母親は泰子さんの顔に鍋底の灰を塗りたくり、防空頭巾を深く被らせ、「泰子下を向いて歩け、歩かなければ置いていく」身重の母のその言葉に押されるように、命を掛け、夜通し満月の下を歩いたことを今も鮮明に覚えています。幼い泰子さんにとって「歩く」は命を繋ぐことでもありました。
 何事にも積極的にチャレンジし、定年後も北山工業団地の会社に勤務していた暮れの事、泰子さんに生死にかかわる事態が起きました。大掃除で足場にしていた椅子から転落、意識不明の重体になってしまったのです。入院から数カ月後、リハビリの為に中伊豆の病院へ転院、又そこで長い時間を過ごし、ようやく社会復帰を果たすことが出来ました。長い闘病生活を経て運転免許証を返上することを決め、その時から移動は全て「歩く」になりました。
 泰子さんにとって「歩く」は健康の為や景色を楽しむ為だけのものではなく、生活としての手段が大半を占めていました。今、歩こう会に入会し、共に歩く仲間も出来き「歩く」は楽しむための場にもなってきました。月例ウォークに参加する時は、必ず家から富士宮駅へ、帰りも又駅から家へ歩いて帰る健脚ウォーカーです。

南極の旅 その3

日程：2011年1月17日～30日（14日間）

松本 文子

1月24日、ゼンツーペンギンの営巣地に上陸。ペンギンの天敵トウゾクカモメやサヤハチドリも活動を始めており、ペンギンの子育てにしか気がつかなかったが、厳しい現実も見ることができた。上陸して気がついたが、ペンギンの歩いた跡は強烈な塩辛の匂いがする。先住民族？の生活環境を変えることはできない、侵入者は我慢だ。
 午後、待ちに待った「ポート・ロックロイ」に上陸。イギリスの基地で古い観測小屋と博物館がある。中には郵便局がありハガキを1ドルで日本に送ることができます。配達には数ヶ月掛かるということでしたが、後で聞くと10日程で着いたそうで、皆さんに喜ばれました。
 25日、待望のデセプション島に上陸、防寒着の下に水着を付けて朝から泳ぐ気十分です。ヒゲペンギンの営巣地で「志村けん」みたいな歩き方で沢山集まってきます。またこの島には地下熱が有り、100mほどの砂浜で外気温はマイナス10度ですが、海水温は13度になります。南極での水泳は今回の旅の大きな目的です。ジャパニーズクレイジーは男6女1の合計7人でした。私の番になり気合を入れ精神統一、海に入りました。しかし寒さは意外と感じません。少し泳いで陸に上がり記念撮影。バスタオル2枚で身を包みボートで本船に戻り入浴、ベットの上にはバスタオルで作った犬が置いてあり、細やかな配慮に感激しました。
 26日、今日からは出航地「ウシュアイア」に向けて復路のコースになります。この旅ではいろんな経験をしました。南極に上陸した時のパフォーマンス・・・私は氷の上に寝て万歳。一流の講師陣による貴重な講義。アザラシの大群のお昼寝見学。オットセイの大群は危険なので30m以上離れること。ホエールウォッチング。氷山が崩れ落ちる幻想的な光景。氷山の間から洩れるコバルト色の素晴らしさ。不思議なことに帰りのコースは、誰ひとり船酔いした人がいませんでした。
 30日15時20分、成田到着。今回の南極旅行では、多くの国を旅している方と話ができて、多種多様な人生があることを知り幸福でした。南極も間もなく上陸制限をしなければならぬようです。皆さんも是非挑戦をしてみたら如何ですか。 完結



『クレイジーな海水浴』

事務所だより

中村敏子さんがアルミ缶風車を事務所に持ってきてから、自分たちで風車作りをしています。軽いアルミ缶風車は少しの風でも回り、涼しさを与えてくれます。材料費がかからずにきれいに回る姿には驚きます。皆様も興味のある方は事務所においてください。

6月の事務所休業日

- 1日(土) 2日(日) 5日(水) 12日(水)
- 16日(日) 19日(水) 26日(水)